

庄内町保健医療福祉推進委員会議事録

平成 23 年 11 月 4 日(金) 午後 1 : 30 ~ 3 : 00 余目保健センター

出席議員 菅原源也、菅原直志、志田重一、佐藤昭一、小林義廣、富樫良秋
田澤幸治、富樫俊子、森居慶、赤羽幹子

出席職員 課長、主幹、課長補佐 佐藤繁、課長補佐 吉田正子、主査兼介護保険係長
高山正子、主査兼健康福祉係長 佐藤陽子(記録)

内容は次の通り

1. 開 会
2. 委員長あいさつ 富樫良秋 氏より新委員紹介
3. 協 議

- (1) 第 5 期介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画の策定について
介護保険係 高山主査より説明

質疑

富樫(俊)委員：「うつ」について、どのように発見どのように対処しているのか。

佐藤(陽)：年 1 回心のチェックリストや心の相談窓口、医療機関等の一覧表を全戸配布している。また、心の健康づくり講演会で啓蒙している。

富樫(俊)委員：高齢者に対する事業を福祉まつりや学区毎に開催してはどうか。冬場閉じこもるので、活動できる場が必要。何か楽しみの項目を入れたら。

高山：いろいろと町では事業行っているが、追い付けない。

富樫(俊)委員：近くの公民館等ではどうか。

高山：緑町とかサロン活動している。身近な集落だといいが、先立つ人がいれば。

富樫(良)委員：緑町は、月に第 1・3 土曜日に公民館で老人クラブが、当番決めて毎回 500 円茶菓子を出し、お昼までいる。毎回 10 人~20 人の参加。おしゃべり、漬物などなごやかな会です。

赤羽委員：自主活動だと同じメンバーで固定してしまう。運動半分食事もある。自分は、「すかつとたちかわ」に月 2 回ボランティア活動している。食事のときの方が、参加人数多い。出ること。楽しみを増やすこと。一人暮らしでも家族たくさんいても孤食の人もいる。

志田委員：徐雪で路線については、町全体で 3 台増になった。古関で高齢者一人暮らしや二人暮らしの世帯、全部で 30 世帯ある。実際できない世帯 10 戸位。規定をつくる

ことを思案中。各集落の組織で検討。

高山：楽しみの項目については、P103 Q10～12

(2) 障がい者計画及び障がい福祉計画策定について

(3) 地域福祉計画の策定について

福祉係 佐藤補佐より説明

質疑

菅原(直)委員：H22年12月自立支援改正。精神の社会的入院を地域移行に目標設定する。

1年未満の入院を7%、10年以上65歳以上の入院を20%以上減らさない。保健医療計画で、医療面での体制整備、介護保険計画にも影響、ケアプラン計画、サービスの支給決定、サービス等利用計画、相談支援相談員、H24新規の人から拡大していく。

課長：そのことについては、議論中。後の自立 全体会で。

志田委員：なぜ、H15～ 合併後は、まだ策定されていない？

佐藤補佐：申し訳ない。

(4) 健康しょうない21計画策定について

健康推進係 吉田補佐より説明

質疑

菅原(源)委員：喫煙率 全国、町として、小中の教師や職員はどうか？

吉田：調査していない。

富樫(良)：アンケート 年代別 現状が悪い年代の分析は？

吉田：次回の委員会で提出したい。

森居委員：集落の公民館に分煙ポスター貼っているが、その場で喫煙している。町長名でなくても、団体名でも再度PRしてみてもどうか？

志田委員：自治会で、50%以上喫煙。各家庭へPR。

(5) その他 なし

小林委員：資料 白黒だとわかりにくいので、工夫してほしい。説明内容の半分以上わからない。福祉の窓口など相談窓口体制図等、各家庭に貼っておくものあれば助かる。

志田委員：防災計画、高齢者の問題、避難所の決定等。

今回は、資料を事前に配布していただきたい。

12月22日(木)または、26日(月)のいずれか、後日連絡する。